Vestax

Active Audio Turntable

BDT-2500

取 扱 説 明 書

このモデルはベルトドライブ方式採用のため、
スクラッチプレイ等はできません。

〒154-0023
東京都世田谷区若林 1-18-6
電話 03-3412-7011　　　ファックス 03-3412-7013
Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX BDT-2500をお買い上げ戴きまして誠にありがとうございます。

ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

目次

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。

警告　この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。

電源指を挟まれないよう注意抜け

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警　告

電源プラグをコンセントから抜け

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

●万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水槽での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注　意

電源プラグをコンセントから抜け

●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

●オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

●電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因たなることがあります。

●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
● 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となるこたがあります。
● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本 機 の 特 長

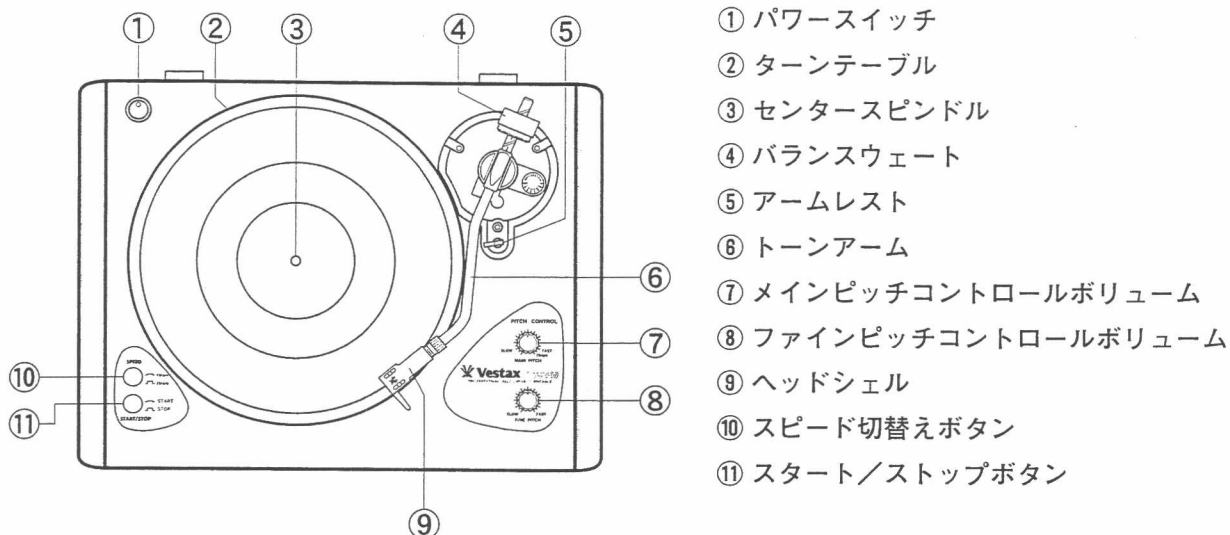
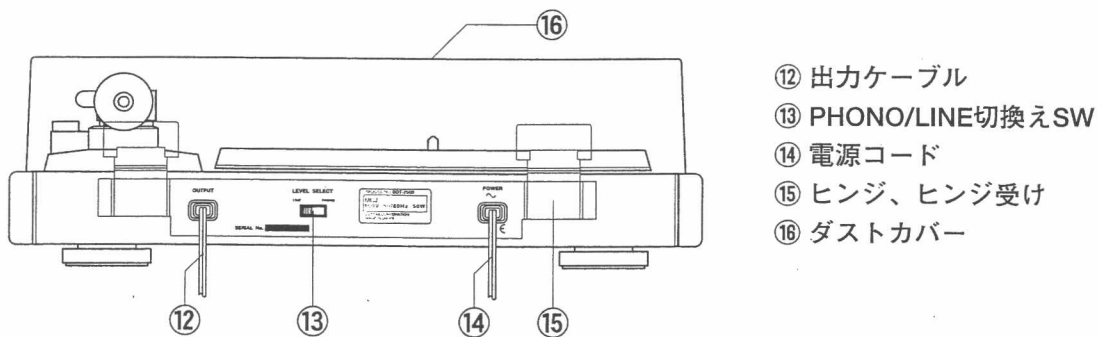
● プロスペック高性能フォノイコライザー内蔵により、LINE INPUT のみのCDラジカセやステレオコンポに接続して使用することが出来ます。また、PHONO/LINE切換えSWを備えておりますので、従来のレコードプレーヤーと同様にPHONO INPUTへの接続も可能です。
● ターンテーブルの回転数を16rpmから98rpmまで可変できることでLP,EPからSPレコードまで全てのレコードに対応することが出来ます。
● プロ機で実績を積んだスタティックバランス型S字トーンアームは、高いトレース能力と抜群の振動特性を誇ります。
● アルミニュウムダイキャストのプラッターは大きな慣性力のもと、静かでスムースな回転を実現しました。
● 重量級の金属ボディーは、モールド成型品にありがちな不必要な箱鳴りを抑えます。

各 部 の 名 称

フロント部

① パワースイッチ
② ターンテーブル
③ センタースピンドル
④ バランスウェート
⑤ アームレスト
⑥ トーンアーム
⑦ メインピッチコントロールボリューム
⑧ ファインピッチコントロールボリューム
⑨ ヘッドシェル
⑩ スピード切替えボタン
⑪ スタート／ストップボタン

リアパネル部

⑫ 出力ケーブル
⑬ PHONO/LINE切換えSW
⑭ 電源コード
⑮ ヒンジ、ヒンジ受け
⑯ ダストカバー

お 使 い に な る 前 に

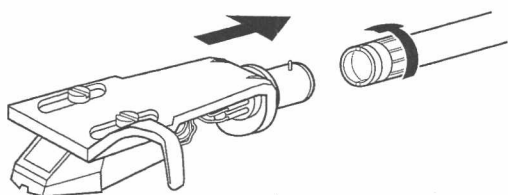
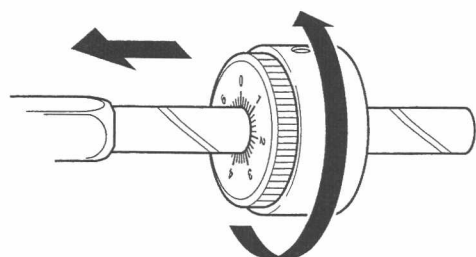
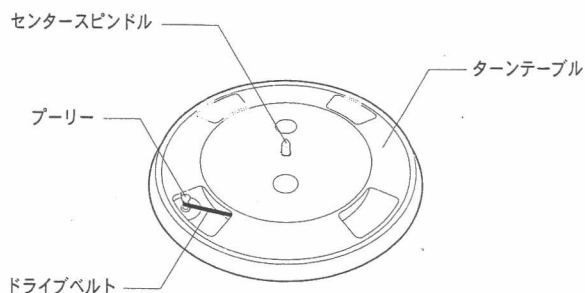
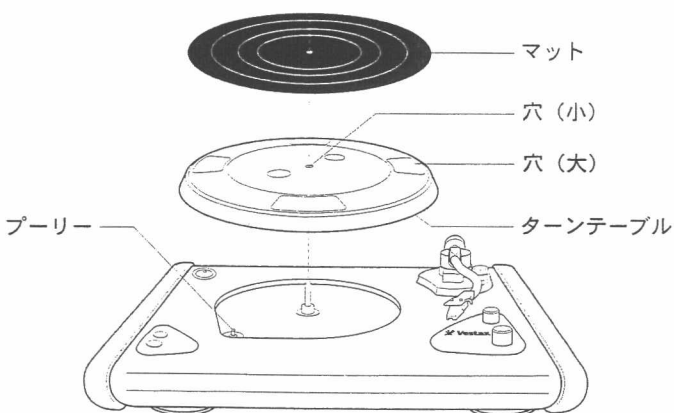
部品、付属品の確認

以下の部品が揃っているか確認してください。

本体
ターンテーブル（ドライブベルト付き）
マット
カートリッジ/ヘッドシェル
バランスウェイト
EPアダプター
ダストカバー
ストロボスコープ
カバー取り付け用ヒンジ（2ヶ）

組立て方

ご注意

組み立て調整がすべて完了するまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
ターンテーブルを取りつける場合、本体に当てないようにご注意ください。

① ターンテーブルの中央にはセンタースピンドルを通すための穴（小）とベルトを掛けるための穴（大）があります。大きい穴に上面から指を入れ、ターンテーブルの内側に掛けられているドライブベルトに指を掛けます。

② ターンテーブルをセンタースピンドルに合わせてはめ込みます。指を入れた穴から本体左手前のモーターのプーリーにドライブベルトを掛けます。

③ ターンテーブルを手で2,3回まわし、ドライブベルト、ターンテーブル、プーリーが外れていないことを確認します。もしも外れていますとターンテーブルは回転しません。

④ ターンテーブルの上にマットを敷きます。

⑤ バランスウェイトをトーンアーム後方から入れ、正面から見て左回りに2,3回まわして取りつけます。

⑥ トーンアームの前方にヘッドシェルを差込み、固定されるまでロックリングを正面から見て左回りに回します。

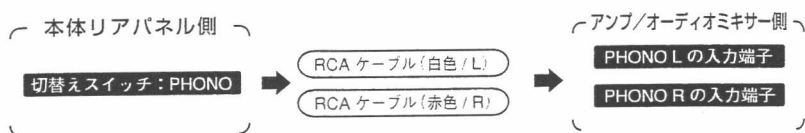
⑦ キャビネット背面にあるヒンジ受けに付属のヒンジ取りつけ、ダストカバーを差し込みます。

接続と設置

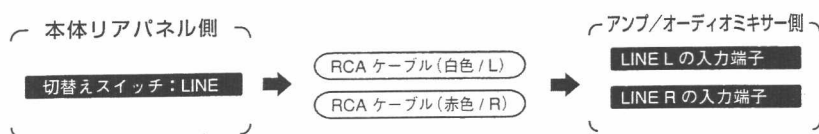
入力端子への接続

● PHONO出力切り換え時

本体リアパネルにある出力ケーブルを使用するアンプやオーディオミキサーのPHONO入力端子に接続してください。

本体リアパネル側		ケーブル		アンプ/オーディオミキサー側
切替えスイッチ：PHONO	➡	RCA ケーブル（白色 / L）	➡	PHONO L の入力端子
		RCA ケーブル（赤色 / R）		PHONO R の入力端子

● LINE出力切り換え時

本体リアパネルにある出力ケーブルを使用するアンプやオーディオミキサーのLINE入力端子に接続してください。

本体リアパネル側		ケーブル		アンプ/オーディオミキサー側
切替えスイッチ：LINE	➡	RCA ケーブル（白色 / L）	➡	LINE L の入力端子
		RCA ケーブル（赤色 / R）		LINE R の入力端子

電源プラグの接続

電源プラグをコンセントに接続します。

ご注意

本機は交流（AC）電圧100Vでご使用いただくようになっています。100Vを超える電圧や直流（DC）電源には絶対接続しないでください。

プレーヤーの設置

① 外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。
② スピーカーシステムからできるだけ離して設置してください。
③ 直射日光、ほこり、湿気などの多い場所や、暖房器具の近くは避けてください。
④ 通風の良い場所を選んでください。
⑤ ラジオ（FM/AM）を極端に近づけますと、ラジオに雑音が入る場合がありますので、できるだけ本機より離してください。

接続例

● PHONO出力切換時

LINE　PHONO

アンプ又はミキサーの
PHONO入力端子へ

【アンプへの接続】
BDT-2500の出力ケーブルを
PHONO入力端子のあるアンプへ

スピーカ　アンプ　スピーカ

【ミキサーを通す場合】
（例：VESTAX PMC-03A）
BDT-2500の出力ケーブルを
ミキサーのPHONO入力端子へ

ミキサーのLINE OUT端子から
アンプのLINE入力端子へ

スピーカ　アンプ　スピーカ

● LINE出力切換時

LINE　PHONO

アンプ又はミキサーの
LINE入力（AUX、CD、
TUNER等）端子へ

【アンプへの接続】
BDT-2500の出力ケーブルを
アンプのLINE入力端子へ

スピーカ　アンプ　スピーカ

【ミキサーを通す場合】
（例：VESTAX PMC-03A）
BDT-2500の出力ケーブルを
ミキサーのLINE入力端子へ

ミキサーのLINE OUT端子から
アンプのLINE入力端子へ

ミキサー　スピーカ　アンプ　スピーカ

調 整 の し か た

オーバーハングの調整

付属のカートリッジのオーバーハングはあらかじめ適正値に調整されておりますので、付属以外のカートリッジをご使用になる際は以下の要領で調整を行って下さい。

①カートリッジをトーンアームに取り付け、カートリッジの取り付けビスをドライバーで緩めます。

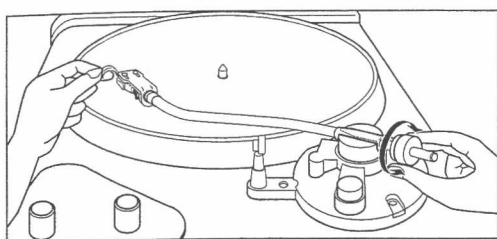
②カートリッジの先端をセンタースピンドル上に移動させます。

③図を参考にカートリッジを前後に動かします。

④オーバーハングが正しく調整できましたら、トーンアームをアームレストに戻し、カートリッジの取り付けビスを締めて固定します。

ご 注 意

カートリッジを前後に動かす際、針先が指やターンテーブルに触れて破損することのないように慎重に行なって下さい。

水平(ゼロ)バランス調整と針圧調整

① 針先にふれないように注意して、針カバーをはずし、トーンアームをアームレストから離してフリーの状態にします。

② バランスウェイトを廻しながらトーンアームが水平になるように調整します。

調整例

aの状態：バランスウェイトとカートリッジのバランスがとれた状態です。トーンアームが水平になります。

bの状態：バランスウェイトが前方に行き過ぎています。

cの状態：バランスウェイトが後方に行き過ぎています。

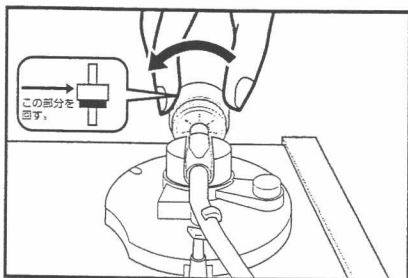
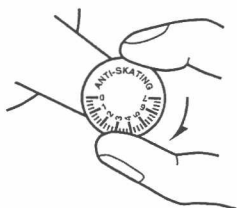
③水平バランスを調整した後、トーンアームをアームレストに戻します。

ご 注 意

水平バランス調整するとき、カートリッジの針先がターンテーブルや本体に強く触れないようにしてください。

④ 水平バランス調整後、バランスウェイトを動かないように指で支え、カウンターリングだけを廻し、アーム軸の中心線にカウンターリングの目盛“0”を合わせます。

ご 注 意

バランスウェイトが動いてしまった場合は、もう一度水平バランス調整からやり直してください。

⑤ バランスウェイトを正面から見て左回りに廻してカートリッジ指定の針圧に合わせます。
バランスウェイトを廻しますとカウンターリングも一緒に動きますので、カウンターリングを直読みしながら適正な針圧力に調整します。

ご注意

針圧を加えすぎると針飛びの原因となるばかりか、針先の寿命が短くなる恐れがありますので、適正針圧をご確認の上、正しくご使用ください。

アンチスケーティングの調整

アンチスケーティングのつまみを針圧と同じ値を示すまでまわします。

ご注意

正しい針圧調整、アンチスケーティング調整は歪みのない再生音を得るため、また針やレコード盤を長持ちさせる上で重要なポイントです。

演奏のしかた

① レコード盤をターンテーブルシートにのせます。

② 上面の左後部に配置されたパワースイッチを押し電源をONにします。

③ 針カバーをはずします。

④ スタート／ストップボタンを押し、ターンテーブルを回転させます。

⑤ 演奏するレコードの回転数をスピード切替えボタンで33 1/3rpmもしくは45rpmに設定します。

⑥ トーンアームをレコード盤上に移動し、針先を静かにレコード盤に下ろします。

⑦ 演奏が終わりましたら、トーンアームをアームレストに戻します。また、針先保護のため針カバーをつけておいてください。

⑧ スタート／ストップボタンを押してターンテーブルの回転を停止させます。

⑨ パワースイッチを押して電源をOFFにしてください。

ドーナツ盤レコードを演奏する場合

付属のEPレコード用アダプターをセンタースピンドルに取付け、ドーナツ盤のレコードをEPアダプターにはめ込んでから演奏をはじめてください。

ピッチコントローラーによる回転数の調整

ターンテーブルの回転速度はピッチコントロルボリュームで調整することが出来ます。
FAST側にまわすとターンテーブルの回転速度は速くなり、SLOW側にまわすと速度が遅くなります。
MAIN PITCHとFINE PITCHはそれぞれ可変範囲が異なります。

《33rpmの時》

MAIN PITCH　約16rpmから78rpmまで可変します。
FINE PITCH　約24rpmから41rpmまで可変します。

《45rpmの時》

MAIN PITCH　約16rpmから98rpmまで可変します。
FINE PITCH　約40rpmから51rpmまで可変します。

SP盤のレコードの演奏

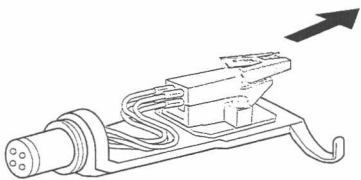
① SP盤のレコードをターンテーブルにのせます。
② 付属のストロボスコープをレコード盤の中央に置きます。
③ スピード切り替えボタンを33rpmに切り替えます。
④ MAIN PITCHのボリュームをFAST側一杯にまわします。
⑤ ストロボスコープの78rpmのドットがつながって見えるようになるまでFINE PITCHのボリュームを調節します。
⑥ 設定が終了したら演奏が開始できます。

SP盤のレコードをより忠実に演奏させるために専用のカートリッジを用意しております。
カートリッジ：　VR-7SP(VESTAX)
交換針：　VR-7SPP(VESTAX)
オーダーメイドとなっておりますので、ご購入店へご相談ください。

カートリッジの交換

針先の交換

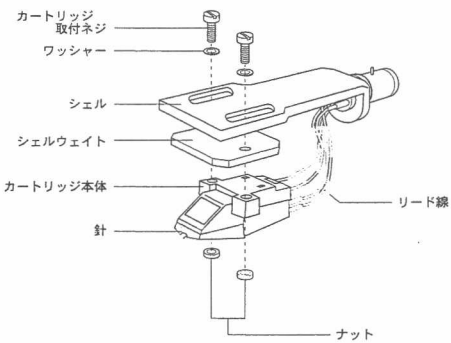
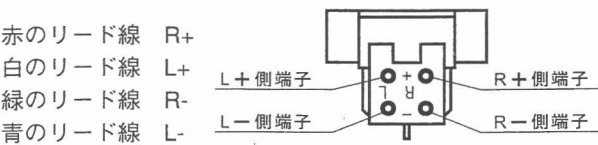
針先の寿命は平均500時間程度です。最高の音質を保ち、レコード盤の損傷を避けるためにこの時間以内に針先を交換することをお勧めします。

① プレーヤー及びアンプの電源を切る。
② ロックリングをまわしてカートリッジをトーンアームから取り外します。
③ 針先ホルダーを持ってカートリッジ本体から針先を引き抜きます。
④ 新しい針先をカートリッジのソケットに差し込みます。

カートリッジの交換

カートリッジの交換が必要な場合は図を参考にご使用のカートリッジ説明書に従って取付けてください。
カートリッジのリード線のL、R極性は以下のようになっています。

赤のリード線　R+
白のリード線　L+
緑のリード線　R-
青のリード線　L-

L＋側端子
L－側端子
R＋側端子
R－側端子

カートリッジ取付ネジ
ワッシャー
シェル
シェルウェイト
カートリッジ本体
針
リード線
ナット

取扱い上のご注意及びお手入れ

1.針先やレコードに付着したほこりやごみは、よく取り除いてください。
針先にほこりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード盤の音溝に正確に接触することができません。また、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の損耗が早まる恐れがありますので、お手入れはトーンアームからシェルごと取りはずし、柔らかい穂先のはけか毛筆などで根元から針先に向かって、丁寧に取り除いてください。レコード盤も良質のレコードクリーナーでよくふいてください。

2.シェル端子は時々ふいてください。
シェルをトーンアームからはずしておきますとシェル端子にほこりやごみがつき、接触不良を起こして雑音やハムを発生させる原因となります。また、音が出なくなる場合もありますので、柔らかい布などでシェル端子をふいてからシェルを取り付けてください。

3.シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを“0”にするか、アンプの電源を“OFF”にしてから行ってください。
ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行いますと不愉快な音がするだけでなく、スピーカーをいためる恐れがあります。また、シェルを着脱する場合は針先保護のために針カバーをしてから行ってください。

4.ハウリングとハムについて
ハウリングは、スピーカーからの音や振動がプレーヤーに伝わり、それを再びカートリッジが拾い上げることによって生ずるものです。ボリュームを上げて、ウォーンというハウリングが発生するときは、スピーカーと本体との位置関係をチェックし、音や振動が本機に伝わらないように対策してください。ハムノイズは、他の電器製品から出る電磁波によるものです。本機周辺の電器製品では特にアンプとの位置関係をチェックしてください。

5.転宅などで、遠くへ運ばれるとき。
購入時の包装材を用いて開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行ってください。

● ターンテーブルシートとターンテーブルを抜き取って、傷のつかないように包装します。
● アースをアームレストに戻し、更にテープで結んで動かないようにしてください。
● バランスウェイトやシェル／カートリッジは、アームから取りはずし、傷のつかないように包装してください。
● 本体は、毛布や、柔らかい紙等で、傷のつかないように包装してください。

6.キャビネットとダストカバーのお手入れ
キャビネットとダストカバーの汚れは、柔らかい乾いた布で拭き取って下さい。汚れが落ちにくい場合は中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で吹いて下さい。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を痛めますのでご使用は避けて下さい。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症　状	考えられる原因	処　置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	各機器の接続が間違っていませんか。	正しく接続する。
音量が小さい。	PHONO/LINE 切換え SW を PHONO 側に切り換えてレコードプレイヤー本体の出力わアンプ/オーディオミキサーの AUX IN または LINE IN に接続していませんか。	アンプ/オーディオミキサーの PHONO IN に接続しなおすか、PHONO/LINE 切換え SW を LINE 側に切り換えて下さい。
	レコードプレイヤー本体に取りつけているカートリッジに、MC タイプを使用していませんか。	カートリッジを MM タイプへ交換する。（MC タイプを使用する場合はヘッドアンプが必要です。）
左右の音が逆になる。	各機器の接続が間違っていませんか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音（ハム音またはバス音）が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
ランブルノイズや低周波ハウリングが起こる。	レコードプレイヤー本体の近くにスピーカーがありませんか。	スピーカーをプレイヤー本体から離す。
針が飛んだり、横すべりする。	レコードプレイヤー本体が水平な場所に設置されていない。	水平な場所に設置する。
	針圧が正しくない。	正しい針圧に設置する。
	レコードが汚れているか傷がついている。	レコードをクリーニングするか他のレコードと交換する。
音が片方しか出ない、または全くでない。	ヘッドシェルがトーンアームに確実に取りつけられていない。	確実に取りつける。
	ヘッドシェル内のカートリッジリード線がはずれている。	確実に接続する。
	アンチスケーティングの調整が合っていない。	アンチスケーティングのつまみの値を針圧と同じ値にする。
正常な音質が得られない。	針先にゴミがたまっているか消耗していませんか。	針先のゴミを専用のクリーニングブラシで取り除くか、針先を新品と交換する。
演奏スピードが正しくない。	回転数の設定が誤っていませんか。	レコードに記載されている回転数に合わせる。
	ドライブベルトが劣化している。	お買い求めになったお店にお問い合わせの上、ドライブベルトを交換して下さい。
ターンテーブルが回転しない。	ドライブベルトが外れている。	ドライブベルトを取り付ける。
	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。

保証、アフターサービスについて

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り8年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

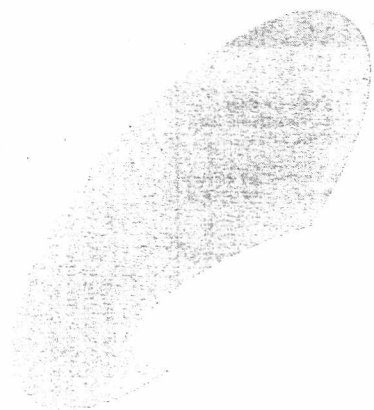
異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
（保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。）

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　—

主な仕様

TURNTABLE	MOTOR DRIVE SYSTEM SPEED WOW & FLUTTER S/N	DC SERVO MOTOR BELT DRIVE 33.1/3,45rpm(CAN BE ADJUSTED FROM 16 TO 98rpm) 0.03% W.R.M.S. 60dB (ICE-B) 70dB ((DIN-B)
ARM	TYPE EFFECTIVE LENGTH OFFSET ANGLE OVER HANG TRACKING ERROR ANTI SKATING STYLUS PRESSURE	STATIC BALANCE SYSTEM 230mm ±1mm 23° 16mm 2.35° ～-1.3° ADJUSTMENT RANGE 0～7.0g ADJUSTMENT RANGE 0～7.0g
CARTRIDGE	MODEL NAME FREQUENCY RESPONSE SENSITIVITY CHANNEL BALANCE CHANNEL SEPARATION STYLUS PRESSURE TRACKING ANGLE STYLUS WEIGHT	VR-3S(DUAL MAGNET) 15～20,000Hz 3mV 2dB 20dB 2.5～3.5g 23° VR-3SS 7.0g
	DIMENSION WEIGHT POWER	472(W)×138(H)×375(D)mm 7.5kg AC 100V 50/60Hz